

実務経験のある教員等による授業科目の一覧表

サービス経営学部 サービス経営学科

授業科目名	担当者	単位数	実務経験
エアライン実務論	服部 裕美子	2	国際線客室乗務員として、日本航空株式会社に約10年勤務。フライトタイム累計6,142時間。通常の定期便以外にも数多くの特別便(首相フライトや招待フライト)などを担当し、要人接遇の経験を積んだ。実務経験に基づき、世界のエアライン・サービスの原状とその趨勢、航空業界の実務とオペレーションについて理論と実践の融合を図っている。
エアライン・サービス論	馬場 哲也	2	航空会社に勤務。空港旅客業務や本社経営企画を担当。実務経験をもとにエアライン・サービスの特性について理論と実践の融合を図っている。
エアライン・ビジネス論	馬場 哲也	2	航空会社に勤務。空港旅客業務や本社経営企画を担当。実務経験をもとにエアライン・ビジネスの特性について理論と実践の融合を図っている。
ホテル・旅館経営論	馬場 哲也	2	航空会社ホテル事業部長およびホテル会社執行役員を経験。実務経験をもとにホテル運営・ホテル経営について理論と実践の融合を図っている。
ホテル・フードサービス論	馬場 哲也	2	航空会社ホテル事業部長およびホテル会社執行役員を経験。実務経験をもとにホテル・フードサービスについて理論と実践の融合を図っている。
ホテル・フード実務論	馬場 哲也	2	航空会社ホテル事業部長およびホテル会社執行役員を経験。実務経験をもとにホテル・フード実務について理論と実践の融合を図っている。
MICEビジネス	馬場 哲也	2	航空会社ホテル事業部長およびホテル会社執行役員を経験。実務経験をもとに展覧会、国際会議、博覧会、スポーツ、文化イベントなどの多彩なMICE領域について理論と実践の融合を図っている。
コンシェルジュ論	富樫 文予	2	株式会社帝国ホテルに勤務。ホテル統括マーケティング部門・宿泊部門を担当。ゲストリレーションズ支配人などの経験をもとに、ホテルのホスピタリティやそれを支える組織や人材について理論と実践の融合を図っている。
ホテル・フードサービス論	富樫 文予	2	株式会社帝国ホテルに勤務。ホテル統括マーケティング部門・宿泊部門を担当。ゲストリレーションズ支配人などの経験をもとに、ホテル・フードサービスについて理論と実践の融合を図っている。
広告論	金澤 良昭	2	電機メーカーに勤務し広告・広報・販売促進などの業務を担当。実務経験をもとに広告について理論と実践の融合を図っている。
マーチャンダイジング論	小玉 武生	2	株式会社西武百貨店に勤務。婦人服のマーチャンダイジングや商品企画を担当。実務経験をもとにマーチャンダイジングや商品企画について理論と実践の融合を図っている。
金融論	松澤 祐介	2	日本銀行に勤務。金融政策運営、金融市場、外為市場、企業動向の調査等に従事。実務経験をもとに、銀行業、金融政策運営、金融市場について理論と実践の融合を図っている。
合計		24	

授業形態	開講学部	サービス経営学部		選択	2単位	講義	
	2年次	開講期	後期	ディスカッション	無	学外授業	有
授業科目 (英名)	エアライン実務論 (Practices in Tourism Business)						
担当教員名	服部 裕美子 (◎は科目責任者)						
<p>[授業の概要] 観光におけるエアラインの位置づけを概観します。エアライン業界の特徴や、各職種の業務を学ぶことで「顧客の満足や感動の向上」を実現するために、エアライン各社がどのようなサービスを提供しているかを明らかにします。世界的規模で推進されるネットワーク構築の拡大と顧客サービスの関わり、更にアライアンスを基軸とした観光業界全体の再編に繋がる大きな流れも把握します。またエアライン業界は、世界の政治・経済・気候・病疫等のイベントリスクにさらされています。世界の動向を把握する為に、受講生には毎週、観光やエアラインに関するニュースレポート (1枚@A4) が課せられます。</p> <p>[科目の位置付け (全学年を通しての関連科目)] この科目は、本学部のカリキュラム・ポリシー (3) すなわち、ホスピタリティ・ツーリズムコースの実践的で柔軟な専門性を修得する科目として位置づけられます。特に、観光の振興に寄与する人材-エアラインの最前線でサービスに従事する人材育成のための基礎科目です。時代の変化に伴い顧客のニーズも大きく変化し、エアラインのサービスも多様化していますが、観光立国を標榜する日本において、エアラインの果たすべき役割と使命はますます大きく期待されています。「おもてなし」を体現できる、世界に通用するエアラインスタッフになるための基礎知識の修得が主たる目的ですが、エアライン以外のホスピタリティ業界をめざす受講生にとっても、同様に有意義であると思われます。</p> <p>[到達目標] (1) 観光におけるエアラインの役割や位置づけ、エアラインのサービス体系を理解し、エアラインスタッフに必要な業界の基礎知識を説明できる。 (2) 世界のエアラインの中から特に興味を持った会社について課題に沿ってリサーチをして、発表ができる。 (3) 世界の政治・経済・気候・病疫等のイベントリスクと観光や航空業界の動向との関係を把握し、業界の課題を述べるができる。</p>							
回	授業計画	授業外学修 (事前学修・事後学修)			担当者		
1	エアラインを取り巻く環境と観光業界における役割	事前学修 (90分) : エアライン業界の現状を調べる 事後学修 (90分) : 観光やエアラインに関する1週間以内のニュースレポートを作成する			服部		
2	エアラインの歴史と現代的使命	事前学修 (90分) : エアラインの始まりについて調べる 事後学修 (90分) : 観光やエアラインに関する1週間以内のニュースレポートを作成する			服部		
3	世界の航空機その構造と機種	事前学修 (90分) : 世界の二大航空機メーカーについて調べる 事後学修 (90分) : 観光やエアラインに関する1週間以内のニュースレポートを作成する			服部		
4	世界の空港とその機能	事前学修 (90分) : 世界の空港を3か所取り上げ、指定項目を調べる 事後学修 (90分) : 観光やエアラインに関する1週間以内のニュースレポートを作成する			服部		
5	エアラインの業務とそのサービス	事前学修 (90分) : エアラインのサービスについて調べる 事後学修 (90分) : 観光やエアラインに関する1週間以内のニュースレポートを作成する			服部		
6	エアラインの職種とその仕事	事前学修 (90分) : エアラインの職種を調べる 事後学修 (90分) : 観光やエアラインに関する1週間以内のニュースレポートを作成する			服部		
7	グランドスタッフの業務と適性	事前学修 (90分) : グランドスタッフの仕事内容を調べる 事後学修 (90分) : 観光やエアラインに関する1週間以内のニュースレポートを作成する			服部		
8	客室乗務員の業務と適性	事前学修 (90分) : 客室乗務員の仕事内容を調べる 事後学修 (90分) : 観光やエアラインに関する1週間以内のニュースレポートを作成する			服部		
9	空港見学に関する事前研修	事前学修 (90分) : 空港見学事前課題下調べ 事後学修 (90分) : 観光やエアラインに関する1週間以内のニュースレポートを作成する			服部		
10	羽田空港見学	事前学修 (90分) : 空港見学事前課題 事後学修 (90分) : 観光やエアラインに関する1週間以内のニュースレポートを作成する			服部		
11	世界のエアラインとアライアンス	事前学修 (90分) : 三大アライアンスを調べる 事後学修 (90分) : 観光やエアラインに関する1週間以内のニュースレポートを作成する			服部		
12	航空会社研究 1	事前学修 (90分) : 日本の航空会社2社について、指定項目を調べる 事後学修 (90分) : 観光やエアラインに関する1週間以内の			服部		

13	航空会社研究2	ニュースレポートを作成する 事前学修(90分)：海外の航空会社2社について、指定項目を調べる 事後学修(90分)：観光やエアラインに関する1週間以内のニュースレポートを作成する	服部
14	航空会社研究3	事前学修(90分)：エアラインの各種ランキングを調べる 事後学修(90分)：観光やエアラインに関する1週間以内のニュースレポートを作成する	服部
15	エアライン知識のまとめ	事前学修(90分)：これまでの学修を整理して、疑問点と課題点を明確にする 事後学修(90分)：課題レポート	服部
成績評価の方法と基準		授業参画度(30%)、提出課題(30%)、期末課題(40%)により総合的に判断します。	
履修上の留意点		①エアラインの仕事は、世界の政治・経済と密接な関係で成り立っています。新聞や経済誌を読み、時事問題や世界情勢を把握しておく必要があります。 ②第5回目「エアラインの業務とそのサービス」の回で、業界で活躍中のゲスト講師を招く場合があります。現場の状況をアップデートするためです。 ③空港見学の交通費は、各自負担になります。日程の詳細は別途指示しますが、通常の授業曜日以外(土日祝)に実施する予定です。	
ディプロマポリシーとの関連		この科目は、サービス経営学部のディプロマポリシー(1)(2)(3)と関連します。特に(1)との関与度が高い科目です。	
教科書		『航空知識のABC』イカロス出版、2015年	
参考書・参考資料		授業内で、随時紹介します。	
学生との連絡方法		AAAを使用します。詳細は初回の授業で説明します。	
実務経験科目		実務経験科目に該当する。国際線客室乗務員として、日本航空株式会社に約10年勤務。フライトタイム累計6,142時間。通常の定期便以外にも数多くの特別便(首相フライトや招待フライト)などを担当し、要人接遇の経験を積んだ。実務経験に基づき、世界のエアライン・サービスの原状とその趨勢、航空業界の実務とオペレーションについて理論と実践の融合を図っている。	

授業形態	開講学部	サービス経営学部		選択	2単位	講義	
	3年次	開講期	前期	ディスカッション	無	学外授業	無
授業科目 (英名)	エアライン・サービス論 (Airline Service)						
担当教員名	馬場 哲也 (◎は科目責任者)						
[授業の概要] エアライン産業に関わる基本的な知識、ビジネス特性、ビジネス環境の実務知識を習得し、更には公共交通機関として使命も理解します。また、航空を通して国際文化とは何かを把握します。							
[科目の位置付け (全学年を通しての関連科目)] この科目は、本学部のカリキュラム・ポリシー (3)、すなわち、ホスピタリティ・ツーリズムコースの実践的で柔軟な専門性を修得する科目として位置づけられます。 エアライン業界の基本的な概念を理解し、業界の特性、動向等を理解すると共に、エアラインビジネスに関する知識を深め、国際文化についても理解を深めます。							
[到達目標] (1) エアラインビジネスの基本的な知識を修得する。 (2) エアライン・ビジネスについて修得・考察した結果を実践的に表現することができる。							
回	授業計画			授業外学修 (事前学修・事後学修)		担当者	
1	オリエンテーション、シラバスの説明			事前学修 (90分) : 実際に空港に行ってみる (120分) 事後学修 (90分) : プリント・ノートを確認・理解		馬場	
2	国際線の航空路線			事前学修 (90分) : 国際線の航空路線を調べておく 事後学修 (90分) : プリント・ノートを確認・理解		馬場	
3	日本のエアラインの分類			事前学修 (90分) : エアラインの分類を調べておく 事後学修 (90分) : プリント・ノートを確認・理解		馬場	
4	エアラインの客室・クラス別仕様			事前学修 (90分) : エアラインの客室クラスを調べておく 事後学修 (90分) : プリント・ノートを確認・理解		馬場	
5	空港の旅客動線			事前学修 (90分) : 空港の旅客動線を調べておく 事後学修 (90分) : プリント・ノートを確認・理解		馬場	
6	空港の業務・職種・グランドハンドリング			事前学修 (90分) : 空港の業務を調べておく 事後学修 (90分) : プリント・ノートを確認・理解		馬場	
7	空港の機能と業務			事前学修 (90分) : 空港の機能を調べておく 事後学修 (90分) : プリント・ノートを確認・理解		馬場	
8	まとめ			事前学修 (90分) : 今までのまとめをしておく 事後学修 (90分) : プリント・ノートを確認・理解		馬場	
9	グランドスタッフの業務			事前学修 (90分) : エアラインの地上業務を調べておく 事後学修 (90分) : プリント・ノートを確認・理解		馬場	
10	客室乗務員の業務 (Cabin Attendant) ①			事前学修 (90分) : 客室乗務員の業務を調べておく 事後学修 (90分) : プリント・ノートを確認・理解		馬場	
11	客室乗務員の業務 (Cabin Attendant) ②			事前学修 (90分) : 客室乗務員の業務を調べておく 事後学修 (90分) : プリント・ノートを確認・理解		馬場	
12	国際文化・慣習			事前学修 (90分) : 国際文化・慣習を調べておく 事後学修 (90分) : プリント・ノートを確認・理解		馬場	
13	世界の食文化と機内食			事前学修 (90分) : 機内食を調べておく 事後学修 (90分) : プリント・ノートを確認・理解		馬場	
14	LCCの特徴とサービス			事前学修 (90分) : LCCについて調べておく 事後学修 (90分) : プリント・ノートを確認・理解		馬場	
15	まとめ			事前学修 (90分) : 今までのまとめをしておく 事後学修 (90分) : プリント・ノートを確認・理解		馬場	
成績評価の方法と基準	授業貢献度10%、毎授業後のコメント票10%、試験80%の要素を総合的に評価します。						
履修上の留意点	ニュースや新聞等で、常日頃から、航空関係・サービスのあり方・国際関係に意識して動向を理解していく習慣をつけると良いです。						
ディプロマポリシーとの関連	本科目は、サービス経営学部ディプロマ・ポリシーの (1)、(2) に関連しています。						

教 科 書	使用しません。
参 考 書 ・ 参 考 資 料	稲本恵子編 晃洋書房 「エアライン・ビジネス入門」 (第2版) 2021年
学 生 と の 連 絡 方 法	AAAを使用します。
実 務 経 験 科 目	実務経験科目に該当する。航空会社に勤務。空港旅客業務や本社経営企画を担当。実務経験をもとにエアライン・サービスの特性について理論と実践の融合を図っている。

授業形態	開講学部	サービス経営学部		選択必修	2単位	講義	
	3年次	開講期	後期	ディスカッション	無	学外授業	無
授業科目 (英名)	エアライン・ビジネス論 (Airline Service)						
担当教員名	馬場 哲也 (◎は科目責任者)						
[授業の概要] エアライン産業に関わる基本的な知識、ビジネス特性、ビジネス環境の実務知識を習得し、更には公共交通機関として使命も理解します。また、航空を通して国際文化とは何かを把握します。							
[科目の位置付け (全学年を通しての関連科目)] この科目は、本学部のカリキュラム・ポリシー(3)、すなわち、ホスピタリティ・ツーリズムコースの実践的で柔軟な専門性を修得する科目として位置づけられます。 エアライン業界の基本的な概念を理解し、業界の特性、動向等を理解すると共に、エアラインビジネスに関する知識を深め、国際文化についても理解を深めます。							
[到達目標] (1) エアラインビジネスの基本的な知識を修得する。 (2) エアラインビジネスについて適切な手段によって適切に表現することができる。 (3) エアラインビジネスの事象の考察や実践に積極的に活用しようとする。 (4) エアラインビジネスの課題を発見し、問題を解決する能力等の思考力を身につける。							
回	授業計画			授業外学修 (事前学修・事後学修)		担当者	
1	オリエンテーション、シラバスの説明			事前学修 (90分) : 実際に空港に行ってみる 事後学修 (90分) : プリント・ノートを確認・理解		馬場	
2	日本のエアラインの分類			事前学修 (90分) : エアラインの分類を調べておく 事後学修 (90分) : プリント・ノートを確認・理解		馬場	
3	エアラインのサービス概観			事前学修 (90分) : エアラインのサービスを調べておく 事後学修 (90分) : プリント・ノートを確認・理解		馬場	
4	空港の旅客動線と業務			事前学修 (90分) : 空港の旅客動線を調べておく 事後学修 (90分) : プリント・ノートを確認・理解		馬場	
5	日本と世界の空港			事前学修 (90分) : 空港の機能を調べておく 事後学修 (90分) : プリント・ノートを確認・理解		馬場	
6	航空運賃とマイルージ			事前学修 (90分) : 航空運賃の種類を調べておく 事後学修 (90分) : リントプリント・ノートを確認・理解		馬場	
7	旅客機の特性と空域、空路			事前学修 (90分) : 旅客機について調べておく 事後学修 (90分) : プリント・ノートを確認・理解		馬場	
8	まとめ			事前学修 (90分) : 今までのまとめをしておく 事後学修 (90分) : プリント・ノートを確認・理解		馬場	
9	客室乗務員の業務 (Cabin Attendant) ①と演習			事前学修 (90分) : Cabin Attendant の業務を調べておく 事後学修 (90分) : プリント・ノートを確認・理解		馬場	
10	客室乗務員の業務 (Cabin Attendant) ②と演習			事前学修 (90分) : Cabin Attendant の業務を調べておく 事後学修 (90分) : プリント・ノートを確認・理解		馬場	
11	交通機関としての航空の特性			事前学修 (90分) : 航空の特性を調べておく 事後学修 (90分) : プリント・ノートを確認・理解		馬場	
12	航空産業の特性			事前学修 (90分) : 航空産業の特性を調べておく 事後学修 (90分) : プリント・ノートを確認・理解		馬場	
13	国際文化・慣習と機内食			事前学修 (90分) : 国際文化・慣習を調べておく 事後学修 (90分) : プリント・ノートを確認・理解		馬場	
14	大手航空とLCC			事前学修 (90分) : LCCについて調べておく 事後学修 (90分) : プリント・ノートを確認・理解		馬場	
15	まとめ			事前学修 (90分) : 今までのまとめをしておく 事後学修 (90分) : プリント・ノートを確認・理解		馬場	
成績評価の方法と基準	授業貢献度10%、毎授業後のコメント票10%、試験80%の要素を総合的に評価します。						
履修上の留意点	ニュースや新聞等で、常日頃から、航空関係・サービスのあり方・国際関係に意識して動向を理解していく習慣をつけると良いです。						

ディプロマポリシーとの関連	本科目は、サービス経営学部ディプロマ・ポリシーの(1)、(2)、(3)、(4)と関連しています。特に(4)との関連が高い科目です。
教科書	稲本恵子編 晃洋書房 「エアライン・ビジネス入門」(第2版)2021年
参考書・参考資料	
学生との連絡方法	AAAを使用します。
実務経験科目	実務経験科目に該当する。航空会社に勤務。空港旅客業務や本社経営企画を担当。実務経験をもとにエアライン・ビジネスの特性について理論と実践の融合を図っている。

授業形態	開講学部	サービス経営学部		選択	2単位	講義	
	2年次	開講期	後期	ディスカッション	無	学外授業	無
授業科目 (英名)	ホテル・旅館経営論 (Hotel and Ryokan Japanese Inn Management)						
担当教員名	馬場 哲也 (◎は科目責任者)						
[授業の概要] 「ホテル業」の歴史、海外・国内の主要ホテルの特徴や経営運営を理解し、また日本独特の「旅館業」の経営運営を考察することにより「宿泊産業」の経営の全体像を把握し知識を深めます。							
[科目の位置付け (全学年を通しての関連科目)] この科目は、本学部のカリキュラム・ポリシー(3)、すなわち、ホスピタリティ・ツーリズムコースの実践的で柔軟な専門性を修得する科目として位置づけられます。 「ホテル業」と「旅館業」は「宿泊産業」の両輪として観光業と密接に関連して重要な位置を占めています。ホテルと旅館の経営について知識を習得します							
[到達目標] (1) ホテル・旅館の経営について基本的な知識を修得する。 (2) ホテル・旅館の経営について適切な手段によって適切に表現することができる。 (3) ホテル・旅館の経営事象の考察や実践に積極的に活用しようとする。							
回	授業計画			授業外学修 (事前学修・事後学修)		担当者	
1	オリエンテーション、シラバス説明、国内宿泊産業の動向			事前学修 (90分) : 行ったことのあるホテルを具体的に考えてみる 事後学修 (90分) : プリント・ノートを確認・理解		馬場	
2	ホテル業の概観			事前学修 (90分) : ホテル業について調べておく 事後学修 (90分) : プリント・ノートを確認・理解		馬場	
3	日本のホテル 世界のホテル			事前学修 (90分) : 日本と世界のホテルを調べておく 事後学修 (90分) : プリント・ノートを確認・理解		馬場	
4	ホテルの分類			事前学修 (90分) : ホテルの分類を調べておく 事後学修 (90分) : プリント・ノートを確認・理解		馬場	
5	ホテルの人材			事前学修 (90分) : ホテルの人材を調べておく 事後学修 (90分) : プリント・ノートを確認・理解		馬場	
6	ホテルの経営形態			事前学修 (90分) : ホテルの経営形態を調べておく 事後学修 (90分) : プリント・ノートを確認・理解		馬場	
7	ホテルチェーン			事前学修 (90分) : ホテルチェーンを調べておく 事後学修 (90分) : プリント・ノートを確認・理解		馬場	
8	中間のまとめ			事前学修 (90分) : 今までのまとめをしておく 事後学修 (90分) : プリント・ノートを確認・理解		馬場	
9	旅館の概観			事前学修 (90分) : 旅館について調べておく 事後学修 (90分) : プリント・ノートを確認・理解		馬場	
10	ホテルと旅館の差異・特徴			事前学修 (90分) : ホテルと旅館の差を調べておく 事後学修 (90分) : プリント・ノートを確認・理解		馬場	
11	宿泊業の法律・規制			事前学修 (90分) : 宿泊業の法律について調べておく 事後学修 (90分) : プリント・ノートを確認・理解		馬場	
12	宿泊業の許認可			事前学修 (90分) : 宿泊業の許認可について調べておく 事後学修 (90分) : プリント・ノートを確認・理解		馬場	
13	ホテル・旅館の格付け			事前学修 (90分) : ホテルの格付けを調べておく 事後学修 (90分) : プリント・ノートを確認・理解		馬場	
14	ホテル・伝説のサービス			事前学修 (90分) : 伝説のサービスを調べておく 事後学修 (90分) : プリント・ノートを確認・理解		馬場	
15	まとめ			事前学修 (90分) : 今までのまとめをしておく 事後学修 (90分) : プリント・ノートを確認・理解		馬場	
成績評価の方法と基準 授業貢献度10%、毎授業後のコメント票10%、試験80%の要素を総合的に評価します。							

履修上の留意点	ニュースや新聞等で、常日頃から、航空関係・サービスのあり方・国際関係に意識して動向を理解していく習慣をつけると良いです。
ディプロマポリシーとの関連	本科目は、サービス経営学部ディプロマ・ポリシーの(1)と(2)と(3)と関連しています。特に(1)との関連が高い科目です。
教科書	使用しません
参考書・参考資料	土井久太郎著 「よくわかるホテル業界」日本実業出版社2009年
学生との連絡方法	AAAを使用します。
実務経験科目	実務経験科目に該当する。航空会社ホテル事業部長およびホテル会社執行役員を経験。実務経験をもとにホテル運営・ホテル経営について理論と実践の融合を図っている。

授業形態	開講学部	サービス経営学部		選択	2単位	講義	
	2年次	開講期	前期	ディスカッション	無	学外授業	無
授業科目（英名）	ホテル・フードサービス論（Lodging and Food Service Industry）						
担当教員名	馬場 哲也 (◎は科目責任者)						

〔授業の概要〕

ホテル産業に関わる基本的な知識の習得、フードサービスの実務知識を習得します。

〔科目の位置付け（全学年を通しての関連科目）〕

この科目は、本学部のカリキュラム・ポリシー（3）、すなわち、ホスピタリティ・ツーリズムコースの実践的で柔軟な専門性を修得する科目として位置づけられます。ホテル経営、レストラン経営の特徴を理解し、ホテルの重要な機能でもあるフードサービスの知識を学び、基本的な仕組みを修得します。

〔到達目標〕

- ホテルおよびフードサービスの経営形態、社会的機能、使命、人材育成、サービス基準・評価等の特徴を説明できる。
- ホテルにおける運営上の課題、人材資源、およびフードサービスにおける食文化の特徴を整理・分析し、適切に表現することができる。
- ホテルおよびフードサービス経営の観点から、とりわけ利用者側の視点に立ってサービス品質・事象を考察し問題解決策を検討することができる。

回	授業計画	授業外学修 (事前学修・事後学修)	担当者
1	オリエンテーション、シラバス説明	事前学修（90分）：行ったことのあるホテルを具体的に考え出しておく 事後学修（90分）：プリント・ノートを確認・理解	馬場
2	ホテル概観 ホテルの使命	事前学修（90分）：ホテルの使命にはどのようなものがあるか調べておく 事後学修（90分）：プリント・ノートを確認・理解	馬場
3	ホテルの機能 ホテル組織	事前学修（90分）：ホテルの機能にはどのようなものがあるか調べておく 事後学修（90分）：プリント・ノートを確認・理解	馬場
4	ホテルの人材	事前学修（90分）：ホテルにはどのような人材がいるのかを調べておく 事後学修（90分）：プリント・ノートを確認・理解	馬場
5	ホテルの分類	事前学修（90分）：ホテルにはどのような分類があるのかを調べておく 事後学修（90分）：プリント・ノートを確認・理解	馬場
6	外資系ホテル ホテルブランド	事前学修（90分）：外資系ホテルはどのようなホテルがあるのか調べておく 事後学修（90分）：プリント・ノートを確認・理解	馬場
7	ホテル経営形態	事前学修（90分）：ホテルの経営にはどのような形態があるのか調べておく 事後学修（90分）：プリント・ノートを確認・理解	馬場
8	中間のまとめ	事前学修（90分）：今までのまとめをしておく 事後学修（90分）：プリント・ノートを確認・理解	馬場
9	レストランの種類	事前学修（90分）：レストランにはどのような種類があるのか調べておく 事後学修（90分）：プリント・ノートを確認・理解	馬場
10	和食の理解	事前学修（90分）：和食の特徴を調べておく 事後学修（90分）：プリント・ノートを確認・理解	馬場
11	和食コース 文化 マナー	事前学修（90分）：和食のコースについて調べておく 事後学修（90分）：プリント・ノートを確認・理解	馬場
12	中華料理 文化	事前学修（90分）：中華料理について調べておく 事後学修（90分）：プリント・ノートを確認・理解	馬場
13	フランス コース料理 文化	事前学修（90分）：フランス料理について調べておく 事後学修（90分）：プリント・ノートを確認・理解	馬場
14	フードサービスまとめ	事前学修（90分）：フードサービス全体についてまとめておく 事後学修（90分）：プリント・ノートを確認・理解	馬場
15	総まとめ	事前学修（90分）：全体をまとめておく 事後学修（90分）：プリント・	馬場

		学校で修得した内容をノートを確認・理解	
成績評価の方法と基準	授業貢献度10%、毎授業後のコメント票10%、試験80%の要素を総合的に評価します。		
履修上の留意点	ニュースや新聞等で、常日頃から、ホテルやフードサービスのあり方を意識して動向を理解していく習慣をつける と良いです。		
ディプロマポリシーとの関連	本科目は、サービス経営学部ディプロマ・ポリシーの(1)～(3)と関連しています。		
教科書	使用しません。		
参考書・参考資料	日本ホテル教育センター「ホテルビジネス(基礎編)」2014年 土井久太郎著「よくわかるホテル業界」日本実業出版社2009年		
学生との連絡方法	AAAを活用します。		
実務経験科目	実務経験科目に該当する。航空会社ホテル事業部長およびホテル会社執行役員を経験。実務経験をもとにホテル・ フードサービスについて理論と実践の融合を図っている。		

授業形態	開講学部	サービス経営学部		選択	2単位	講義	
	2年次	開講期	後期	ディスカッション	無	学外授業	無
授業科目 (英名)	ホテル・フード実務論 (Practice in Hotel and Food Service)						
担当教員名	馬場 哲也 (◎は科目責任者)						
[授業の概要] 本講義は、サービスの定義、ホテル関連部門の業務、宿泊業の現状などを学修し、ホテルを始めとするサービス業の実務やマネジメントの基礎の理解を深めることを目標とします。							
[科目の位置付け (全学年を通しての関連科目)] この科目は、本学部のカリキュラム・ポリシー(3)、すなわち、ホスピタリティ・ツーリズムコースの実践的で柔軟な専門性を修得する科目として位置づけられます。本講義では、サービス経営の基盤となるホテルや料飲部門の実務の基本および付加価値を高めるサービスの意義を学び、今後の専門科目を履修するうえで必要な基礎知識を身につけます。							
[到達目標] (1) ホテルや関連部門の業務を具体的、かつ体系的に理解し、説明することができる。 (2) ホテルやフードサービスにおける、質の高いサービスを提供するための思考力、判断力、コミュニケーション力を修得し、説明することができる。							
回	授業計画			授業外学修 (事前学修・事後学修)		担当者	
1	オリエンテーション、シラバス説明			事前学修 (90分) : ホテルの仕事内容をイメージしてみる。 事後学修 (90分) : プリント・ノートを確認・理解		馬場	
2	ホテル概観 ホテルの業務			事前学修 (90分) : ホテルの業務にはどのようなものがあるか調べておく 事後学修 (90分) : プリント・ノートを確認・理解		馬場	
3	宿泊業の現状とホテル			事前学修 (90分) : 宿泊業の現状を調べておく 事後学修 (90分) : プリント・ノートを確認・理解		馬場	
4	ホテルの実務 ホテルの部門と基本業務			事前学修 (90分) : ホテルの基本業務を調べておく 事後学修 (90分) : プリント・ノートを確認・理解		馬場	
5	ホテルの実務 ホテルの基本業務と宿泊業の特徴			事前学修 (90分) : 宿泊業の特徴を調べておく 事後学修 (90分) : プリント・ノートを確認・理解		馬場	
6	ホテルの実務 ホテルの予約業務と経営指標			事前学修 (90分) : ホテルの経営指標を調べておく 事後学修 (90分) : プリント・ノートを確認・理解		馬場	
7	ホテルの実務 ホテルの全体収支			事前学修 (90分) : ホテルの収支を調べておく 事後学修 (90分) : プリント・ノートを確認・理解		馬場	
8	中間のまとめ			事前学修 (90分) : 今までのまとめをしておく 事後学修 (90分) : プリント・ノートを確認・理解		馬場	
9	フードサービス 和食の理解			事前学修 (90分) : 和食の特徴を調べておく 事後学修 (90分) : プリント・ノートを確認・理解		馬場	
10	フードサービス 和食 コース 文化 マナー			事前学修 (90分) : 和食コース料理を調べておく 事後学修 (90分) : プリント・ノートを確認・理解		馬場	
11	フードサービス 中華料理 コース 文化			事前学修 (90分) : 中華コース料理を調べておく 事後学修 (90分) : プリント・ノートを確認・理解		馬場	
12	フードサービス フレンチ コース 文化 マナー			事前学修 (90分) : フランス料理を調べておく 事後学修 (90分) : プリント・ノートを確認・理解		馬場	
13	フードサービス フレンチ コース ビバレッジ			事前学修 (90分) : フレンチコース料理を調べておく 事後学修 (90分) : プリント・ノートを確認・理解		馬場	
14	フードサービスのまとめ			事前学修 (90分) : 今までのまとめをしておく 事後学修 (90分) : プリント・ノートを確認・理解		馬場	
15	総まとめ			事前学修 (90分) : 今までの総まとめをしておく 事後学修 (90分) : プリント・ノートを確認・理解		馬場	
成績評価の方法と基準	授業貢献度10%、毎授業後のコメント票10%、試験80%の要素を総合的に評価します。						
履修上の留意点	ニュースや新聞等で、常日頃から、ホテルやフードサービスのあり方を意識して動向を理解していく習慣をつけると良いです。						

ディプロマポリシーとの関連	本科目は、サービス経営学部ディプロマ・ポリシーの(1)と(2)と(3)と関連しています。
教科書	使用しません。
参考書・参考資料	日本ホテル教育センター『新ホテル総論』、日本ホテル教育センター、2015 日本ホテル教育センター『レストラン業務の基礎』、日本ホテル教育センター、2018 日本ホテル教育センター『テーブルマナーの基本』、日本ホテル教育センター、2006
学生との連絡方法	AAAを使用します。
実務経験科目	実務経験科目に該当する。航空会社ホテル事業部長およびホテル会社執行役員を経験。実務経験をもとにホテル・フー実務について理論と実践の融合を図っている。

授業形態	開講学部	サービス経営学部		選択	2単位	講義	
	3年次	開講期	前期	ディスカッション	無	学外授業	無
授業科目 (英名)	MICEビジネス論 (MICE Business)						
担当教員名	馬場 哲也 (◎は科目責任者)						
[授業の概要] MICEについて正確な知識を習得するとともに、企画から実施に至るMICE関連産業の組み合わせ、日本におけるインバウンド政策とMICEの関係を理解する。							
[科目の位置付け (全学年を通しての関連科目)] この科目は、本学部のカリキュラム・ポリシー (3)、すなわち、ホスピタリティ・ツーリズムコースの実践的で柔軟な専門性を修得する科目として位置づけられます。 MICEとは、M (meeting)、I (Incentive)、C (Convention)、E (Event/Exhibition) の要素から成り、政府は2008年観光庁を設立し本格的にMICEの推進を開始した。本講座は、展示会、国際会議、博覧会、スポーツ・文化イベントなどの多彩なMICEの領域を、その歴史や概念から関連産業分野まで幅広く学習する。							
[到達目標] (1) MICEビジネスの基本的な内容とIR(Integrated Resort)を説明することができる。観光におけるインバウンドとプロモーションの視点から、MICEの重要性や機能、波及効果、IRを説明することができる。 (2) 日本におけるMICEの現状と課題について、インバウンドとプロモーションを含めて、明確に説明することができる。							
回	授業計画	授業外学修 (事前学修・事後学修)			担当者		
1	オリエンテーション、シラバス説明	事前学修 (90分) : テーマからその概要をイメージする 事後学修 (90分) : プリント・ノートを確認・理解					
2	イベント・コンベンションの歴史	事前学修 (90分) : イベント・コンベンションの歴史を調べておく 事後学修 (90分) : プリント・ノートを確認・理解					
3	イベント・コンベンションの仕組み	事前学修 (90分) : イベント・コンベンションの仕組みを調べておく 事後学修 (90分) : プリント・ノートを確認・理解					
4	世界のMICE	事前学修 (90分) : 世界のMICEを調べておく 事後学修 (90分) : プリント・ノートを確認・理解					
5	日本のMICE	事前学修 (90分) : 日本のMICEを調べておく 事後学修 (90分) : プリント・ノートを確認・理解					
6	MICE産業	事前学修 (90分) : MICE産業を調べておく 事後学修 (90分) : プリント・ノートを確認・理解					
7	MICE施設・付帯設備	事前学修 (90分) : MICE施設を調べておく 事後学修 (90分) : プリント・ノートを確認・理解					
8	中間まとめ	事前学修 (90分) : 今までのまとめをしておく 事後学修 (90分) : プリント・ノートを確認・理解					
9	MICEに関わる法律・制度	事前学修 (90分) : MICEの制度を調べておく 事後学修 (90分) : プリント・ノートを確認・理解					
10	インセンティブ・ツアー実践企画	事前学修 (90分) : インセンティブツアーを調べておく 事後学修 (90分) : プリント・ノートを確認・理解					
11	イベント実務フロー	事前学修 (90分) : イベント実務を調べておく 事後学修 (90分) : プリント・ノートを確認・理解					
12	IR(Integrated Resort)について	事前学修 (90分) : IRについて調べておく 事後学修 (90分) : プリント・ノートを確認・理解					
13	日本の観光政策とMICE	事前学修 (90分) : 日本の観光政策を調べておく 事後学修 (90分) : プリント・ノートを確認・理解					
14	東京オリンピックとMICE	事前学修 (90分) : 東京オリンピックについて調べておく 事後学修 (90分) : プリント・ノートを確認・理解					
15	まとめ	事前学修 (90分) : 今までのまとめをしておく 事後学修 (90分) : プリント・ノートを確認・理解					
成績評価の方法と基準		授業貢献度10%、毎授業後のコメント票10%、試験80%の要素を総合的に評価します。					

履修上の留意点	展示会、文化イベント、見本市などに足を運び、実際の場면을体験してください。
ディプロマポリシーとの関連	本科目は、サービス経営学部ディプロマ・ポリシーの(1)、(2)に関連しています。
教科書	使用しません。
参考書・参考資料	「イベント&コンベンション概論」 JTB総合研究所第2版 2010年
学生との連絡方法	AAAを活用します。
実務経験科目	実務経験科目に該当する。航空会社ホテル事業部長およびホテル会社執行役員を経験。実務経験をもとに展覧会、国際会議、博覧会、スポーツ、文化イベントなどの多彩なMICE領域について理論と実践の融合を図っている。

授業形態	開講学部	サービス経営学部		選択	2単位	講義・演習	
	3年次	開講期	前期	ディスカッション	無	学外授業	無
授業科目（英名）	コンシェルジュ論(Concierge)						
担当教員名	富樫 文予 (◎は科目責任者)						
<p>〔授業の概要〕 「接客サービスの最高のプロフェッショナル」と称されるフランス発祥のコンシェルジュの歴史・実態を学び、ホテルの枠組みを超えて多種多様な企業産業に配置されている現代日本のホスピタリティ産業の分析をすることで、日本ならではのおもてなしという視点を持ってホスピタリティとは何かを考察します。その学び・考察を基に、課題レポート、プレゼンテーションによる表現を試みます。</p> <p>〔科目の位置付け（全学年を通しての関連科目）〕 この科目は、本学部のカリキュラム・ポリシー（3）、すなわち、ホスピタリティ・ツーリズムコースの実績的で柔軟な専門性を修得する科目として位置付けられます。本学の必須科目である「対人関係基礎・応用演習」を基に、ホスピタリティ産業全般にわたる顧客満足を目指すとしたコミュニケーションについて考え、その最たるコンシェルジュという職種について考察します。元来ホテル特有のサービスであったコンシェルジュが、今や航空、客船、デパート、電鉄、銀行、不動産、保険などの企業産業に進出している背景を学びます。それは取りも直さず、現代日本の産業に求められているサービスとは何かを考えることに他ならないのです。</p> <p>〔到達目標〕 (1) 「コンシェルジュ」の歴史・背景及び、そのプロフェッショナルリズムを理解する。ホスピタリティ産業に全般おける顧客満足を目的としたコミュニケーション力の重要性と方法論を理解する。 (2) 課題に対し、調査・分析および、独自のレポート作成・プレゼンテーションすることができる。</p>							
回	授業計画	授業外学修 (事前学修・事後学修)			担当者		
1	オリエンテーション、ホテルの概要	事前学修(90分)：ホテルコンシェルジュに関連する資料・記事を読む 事後学修(90分)：ホテルの概要及びホテルコンシェルジュについて復習・理解			富樫		
2	サービス理論の整理と復習-サービスとホスピタリティ	事前学修(90分)：サービス体験発表準備、サービスとホスピタリティの違いを調べる 事後学修(90分)：サービス理論(サービスとホスピタリティ)について復習・理解			富樫		
3	コンシェルジュの仕事① 現役コンシェルジュの実例	事前学修(90分)：サービス体験発表準備、コンシェルジュの仕事について調べる 事後学修(90分)：コンシェルジュの仕事についての課題レポートをユニブルーブより提出			富樫		
4	コンシェルジュの歴史 レ・クレドールについて、その歴史・組織・運営システム	事前学修(90分)：レ・クレドールの組織について調べる 事後学修(90分)：コンシェルジュの歴史・レ・クレドールについて復習・理解			富樫		
5	コンシェルジュの資質	事前学修(90分)：コンシェルジュに必要な資質について調べる 事後学修(90分)：コンシェルジュの資質についての復習・理解			富樫		
6	コンシェルジュの仕事② 欧米のコンシェルジュ	事前学修(90分)：欧米のコンシェルジュの仕事について調べる 事後学修(90分)：欧米のコンシェルジュの仕事について復習・理解			富樫		
7	中間のまとめ	事前学修(90分)：第1～6回の総復習・理解 事後学修(90分)：中間のまとめ課題をユニブルーブより提出			富樫		
8	コンシェルジュの仕事③ ケーススタディ 演習(第11・12・13回)オリエンテーション	事前学修(90分)：コンシェルジュの仕事の各ケースについて事前に調べる 事後学修(90分)：演習ケースの下調べをする			富樫		
9	ホテルとコンシェルジュー同僚・マネジメント・ホテル外の人脈	事前学修(90分)：ホテル内外のコンシェルジュの人脈について調べる 事後学修(90分)：ホテル内外のコンシェルジュの人脈の復習・理解			富樫		
10	コンプレイン・クレーム、ストレス対策	事前学修(90分)：コンプレインとクレームの違いについて調べる 事後学修(90分)：コンプレインとクレーム、ストレス対策についての復習・理解			富樫		
11	(演習)コンシェルジュ体験	事前学修(90分)：演習課題準備 事後学修(90分)：演習後評価作成、AAAより提出			富樫		
12	(演習)コンシェルジュ体験	事前学修(90分)：演習課題準備 事後学修(90分)：演習後評価作成、AAAより提出			富樫		

13	(演習) コンシェルジュ体験	事前学修 (90分) : 演習課題準備 事後学修 (90分) : 演習後評価作成、AAAより提出	富樫
14	サービスとチップ、日本のおもてなしと茶道精神	事前学修 (90分) : 茶道のおもてなし精神について調べる 事後学修 (90分) : サービスとチップ、茶道のおもてなし精神についての復習・理解	富樫
15	コンシェルジュの広がり、旅館・日本のおもてなし	事前学修 (90分) : 旅館のおもてなしについて調べる 事後学修 (90分) : 日本ならではのおもてなし、コンシェルジュの広がりについて、復習・理解	富樫
成績評価の方法と基準	フィードバックシート (20%)、課題 (35%)、演習 (45%)		
履修上の留意点	コンシェルジュの出発点となったホテル (宿泊部門) の基本事項を復習しておく必要があります		
ディプロマポリシーとの関連	本学部のカリキュラム・ポリシー (1)、(2) と関連しています。特に (1) との関与度が高い科目です。		
教科書	なし、適宜資料配付		
参考書・参考資料	池田里香子著『Le Hall 読み継がれるコンシェルジュのバイブル』オータパブリケーション (2009年) 阿部佳著『「お客様の気持ちを読みとく仕事 コンシェルジュ」秀和システム (2015年)』		
学生との連絡方法	AAA、メール、オフィスアワー		
実務経験科目	実務経験科目に該当する。株式会社帝国ホテルに勤務。ホテル統括マーケティング部門・宿泊部門を担当。ゲストリレーションズ支配人などの経験をもとに、ホテルのホスピタリティやそれを支える組織や人材について理論と実践の融合を図っている。		

授業形態	開講学部	サービス経営学部		選択	2単位	講義	
	2年次	開講期	前期	ディスカッション	無	学外授業	無
授業科目（英名）	ホテル・フードサービス論（Lodging and Food Service Industry）						
担当教員名	富樫 文予 (◎は科目責任者)						
〔授業の概要〕 ホテル産業に関わる基本的な知識の習得、フードサービスの実務知識を習得します。							
〔科目の位置付け（全学年を通しての関連科目）〕 この科目は、本学部のカリキュラム・ポリシー(3)、すなわち、ホスピタリティ・ツーリズムコースの実践的で柔軟な専門性を修得する科目として位置づけられます。ホテル経営、レストラン経営の特徴を理解し、ホテルの重要な機能でもあるフードサービスの知識を学び、基本的な仕組みを修得します。							
〔到達目標〕 (1) ホテルおよびフードサービスの経営形態、社会的機能、使命、人材育成、サービス基準・評価等の特徴を説明できる。 (2) ホテルにおける運営上の課題、人材資源、およびフードサービスにおける食文化の特徴を整理・分析し、適切に表現することができる。 (3) ホテルおよびフードサービス経営の観点から、とりわけ利用者側の視点に立ってサービス品質・事象を考察し問題解決策を検討することができる。							
回	授業計画			授業外学修 (事前学修・事後学修)		担当者	
1	オリエンテーション、シラバス説明			事前学修（90分）：行ったことのあるホテルを具体的に考え出しておく 事後学修（90分）：行ったことのあるホテルのホームページを熟読する		富樫	
2	ホテル概観 ホテルの使命			事前学修（90分）：ホテルの使命にはどのようなものがあるか調べておく 事後学修（90分）：ホテルの使命について確認・理解		富樫	
3	ホテルの機能 ホテル組織			事前学修（90分）：ホテルの機能にはどのようなものがあるか調べておく 事後学修（90分）：ホテルの機能について確認・理解		富樫	
4	ホテルの人材			事前学修（90分）：ホテルにはどのような人材がいるのかを調べておく 事後学修（90分）：ホテルの人材について確認・理解		富樫	
5	ホテルの分類			事前学修：ホテルにはどのような分類があるのかを調べておく 事後学修：ホテルの分類を確認・理解		富樫	
6	外資系ホテル ホテルブランド			事前学修（90分）：外資系ホテルはどのようなホテルがあるのか調べておく 事後学修（90分）：外資系ホテルの特徴を確認・理解		富樫	
7	ホテル経営形態			事前学修（90分）：ホテルの経営にはどのような形態があるのか調べておく 事後学修（90分）：ホテルの経営形態を確認・理解		富樫	
8	中間のまとめ			事前学修（90分）：今までのまとめをしておく 事後学修（90分）：中間のまとめを確認・理解		富樫	
9	レストランの種類			事前学修（90分）：レストランにはどのような種類があるのか調べておく 事後学修（90分）：レストランの種類を確認・理解		富樫	
10	和食の理解			事前学修（90分）：和食の特徴を調べておく 事後学修（90分）：和食の特徴を確認・理解		富樫	
11	和食コース 文化 マナー			事前学修（90分）：和食のコースについて調べておく 事後学修（90分）：和食のコースについて確認・理解		富樫	
12	中華料理 文化 マナー			事前学修（90分）：中華料理について調べておく 事後学修（90分）：中華料理について確認・理解		富樫	
13	フランスコース料理 文化 マナー			事前学修（90分）：フランス料理について調べておく 事後学修（90分）：フランス料理について確認・理解		富樫	
14	フードサービスまとめ			事前学修（90分）：フードサービス全体についてまとめておく 事後学修（90分）：フードサービス全体のまとめを確認・理解		富樫	
15	総まとめ			事前学修（90分）：全体をまとめておく 事後学修（90分）：全体の確		富樫	

		事後評価（30分）：全体の確認・理解	
成績評価の方法と基準	授業貢献度10、毎授業後のコメント票10、試験80の要素を総合的に評価します。		
履修上の留意点	ニュースや新聞等で、常日頃から、ホテルやフードサービスのあり方を意識して動向を理解していく習慣をつけると良いです。		
ディプロマポリシーとの関連	本科目は、サービス経営学部ディプロマ・ポリシーの（1）～（3）と関連しています。		
教科書	なし		
参考書・参考資料	日本ホテル教育センター「ホテルビジネス（基礎編）」2014年 土井久太郎著「よくわかるホテル業界」日本実業出版社2009年		
学生との連絡方法	AAAを使用します。		
実務経験科目	実務経験科目に該当する。株式会社帝国ホテルに勤務。ホテル統括マーケティング部門・宿泊部門を担当。ゲストリレーションズ支配人などの経験をもとに、ホテル・フードサービスについて理論と実践の融合を図っている。		

授業形態	開講学部	サービス経営学部		選択	2単位	講義・演習	
	3年次	開講期	後期	ディスカッション	有	学外授業	無
授業科目（英名）	広告論（Advertising）						
担当教員名	金澤 良昭 (◎は科目責任者)						
<p>〔授業の概要〕 本講義では、理論的視点と実務的視点の両面から、広告についての重要なトピックを取り上げて解説していきます。マーケティング活動の一環としての広告を概観した後、広告媒体ごとの特徴、効果、動向等を学びます。加えて広告表現、媒体計画の企画などのグループワークを通して広告の理解を深めてもらいます。また授業では理解が促進できるようDVDなどの映像教材も活用したいと考えています。</p> <p>〔科目の位置付け（全学年を通しての関連科目）〕 この科目は、本学部のカリキュラム・ポリシー（3）、すなわち、ホスピタリティ・ツーリズムコースの実践的で柔軟な専門性を修得する科目として位置づけられます。ホスピタリティ・ツーリズムコースにおいて情報やメディアといった分野を学ぶための一科目です。広告については、さまざまな学問領域で研究されていますが、この授業においては経営学、マーケティングの視点で説明していきます。</p> <p>〔到達目標〕 (1) 企業が広告を行う目的やプロセス、効果について基本的な内容、メディアと周辺技術の変化が広告に及ぼす影響を理解し説明することができる。 (2) 企業が広告を行う目的やプロセス、効果について分析し、その結果を対象者に合わせて文章と図解によって表現することができる。</p>							
回	授業計画			授業外学修 (事前学修・事後学修)		担当者	
1	1章マーケティングとマーケティング・コミュニケーション 2章マーケティング・コミュニケーションの考え方			事前学修（90分）：参考文献を読む 事後学修（90分）：1～2章の復習		金澤	
2	3章広告/マーケティング・コミュニケーション諸活動の定義と機能 グループ・ディスカッション			事前学修（90分）：3章の予習 事後学修（90分）：3章の復習		金澤	
3	4章：広告/マーケティング・コミュニケーションのビジネス 5章：コミュニケーション・プランニング			事前学修（90分）：6～7章の予習 事後学修（90分）：6～7章の復習		金澤	
4	6章：広告費と広告予算 7章：アカウント・プランニングと広告クリエイティブ			事前学修（90分）：6～7章の予習 事後学修（90分）：6～7章の復習		金澤	
5	8章：コミュニケーション・メディア基本編			事前学修（90分）：8章（応用）の予習 事後学修（90分）：8章（応用）の復習		金澤	
6	8章：コミュニケーション・メディア応用編 グループ・ディスカッション			事前学修（90分）：8章（応用）の予習 事後学修（90分）：8章（応用）の復習		金澤	
7	9章広告予算と広告効果測定			事前学修（90分）：9章の予習 事後学修（90分）：9章の復習		金澤	
8	中間のまとめ グループ・ディスカッション			事前学修（90分）：1～9章既習部の疑問点整理 事後学修（90分）：1～9章既習部の復習		金澤	
9	14章：セールス・プロモーション			事前学修（90分）：14章の予習 事後学修（90分）：14章の復習		金澤	
10	10章：広告/マーケティング・コミュニケーション規制			事前学修（90分）：10章の予習 事後学修（90分）：10章の復習		金澤	
11	15章：PRとパブリシティ戦略			事前学修（90分）：15章の予習 事後学修（90分）：15章の復習		金澤	
12	16章：クチコミ			事前学修（90分）：16章の予習 事後学修（90分）：16章の復習		金澤	
13	17章：ダイレクト・マーケティング			事前学修（90分）：17章の予習 事後学修（90分）：17章の復習		金澤	
14	18章：インスタ・マーチャンダイジングとマーケティング・コミュニケーション マーケティング・コミュニケーションに関するトピックス			事前学修（90分）：18章の予習 事後学修（90分）：18章の復習		金澤	
15	期末のまとめ グループ・ディスカッション			事前学修（90分）：10～18章既習部分の疑問点整理 事後学修（90分）：10～18章既習部分の復習		金澤	
成績評価の方法と基準	毎回の授業における課題 60%、中間課題・期末課題・自由課題 40%により総合的に評価します。						
履修上の留意点	特にありません。						
ディプロマポリシーとの関連	本科目は、サービス経営学部ディプロマ・ポリシーの（1）および（2）と関連しています。						
教科書	石崎他『わかりやすいマーケティング・コミュニケーションと広告 第2版』八千代出版 2019年						
参考書・参考資料	岸・田中・嶋村『現代広告論 第3版』有斐閣 2017年						
学生との連絡方法	メールおよびAAA						
実務経験科目	実務経験科目に該当する。電機メーカーに勤務し広告・広報・販売促進などの業務を担当。実務経験をもとに広告について理論と実践の融合を図っている。						

授業形態	開講学部	サービス経営学部		選択	2単位	講義	
	3年次	開講期	後期	ディスカッション	無	学外授業	無
授業科目 (英名)	マーチャндаイジング論 (Merchandising)						
担当教員名	小玉 武生 (◎は科目責任者)						
<p>[授業の概要] マーチャндаイジングとは、企業がそのマーケティング戦略に沿って、いかに商品サービスを消費者のニーズに適合した形で提供するか、そのための計画と実行・管理のことです。この授業ではマーチャндаイジングの仕組みからその実践まで体系的に学習します。具体的には、マーチャндаイジング計画の立案、小売業の組織、商品戦略 (商品の構成・選定・調達、サービスの内容)、販売戦略 (価格政策、インスタ・マーチャндаイジング、プロモーション) を柱に、それぞれの小売業の業態特性と経営戦略と結びつけながら順次解説します。特に現代の経営における情報ネットワークの重要性に着目し、情報システム化やロジスティックス (戦略的物流戦略) の現状にも目を向けます。</p> <p>[科目の位置付け (全学年を通しての関連科目)] この科目は、本学部のカリキュラム・ポリシー(3)、すなわち、サービス・マネジメントコースの実践的で柔軟な専門性を修得する科目として位置づけられます。1年次のサービス・マネジメント論を基礎とした、流通サービス領域の専門科目で、流通システム論、リテール・ビジネス論等と併せて履修することで、より広範かつ深いレベルでの理解が可能になります。</p> <p>[到達目標] (1) マーチャндаイジングとはどのようなものか説明することができる。小売業の営業活動の仕組みや実態を説明することができる。POSシステムの役割や仕組み、NB (ナショナル・ブランド) ・PB (プライベート・ブランド) などについての基本的な知識を説明することができる。 (2) ABC分析や利益貢献度分析等基本的な営業分析ができ表現することができる。 (3) 小売業の営業の仕組みを知り、個々の経営を企業戦略の視点から見る眼を養い、表現することができる。</p>							
回	授業計画	授業外学修 (事前学修・事後学修)			担当者		
1	講義、評価の方法および科目の特徴 (ガイダンス、コンビニエンス・ストアの成長要因)	事前学修 (90分) : 小売業に関する情報を新聞等で調べ要点メモを作成 事後学修 (90分) : 当該授業の配布資料を読み要点を整理			小玉		
2	マーチャндаイジングの体系	事前学修 (90分) : 小売業に関する情報を新聞等で調べ要点メモを作成 事後学修 (90分) : 当該授業の配布資料を読み要点を整理			小玉		
3	商品政策の目的と役割	事前学修 (90分) : 小売業に関する情報を新聞等で調べ要点メモを作成 事後学修 (90分) : 当該授業の配布資料を読み要点を整理			小玉		
4	最新の流通のトピックス	事前学修 (90分) : 小売業に関する情報を新聞等で調べ要点メモを作成 事後学修 (90分) : 当該授業の配布資料を読み要点を整理			小玉		
5	マーチャндаイジング・サイクル	事前学修 (90分) : 小売業に関する情報を新聞等で調べ要点メモを作成 事後学修 (90分) : 当該授業の配布資料を読み要点を整理			小玉		
6	ABC分析とパレートの法則	事前学修 (90分) : 小売業に関する情報を新聞等で調べ要点メモを作成 事後学修 (90分) : 当該授業の配布資料を読み要点を整理			小玉		
7	カスタマー・リレーションシップ・マネジメント	事前学修 (90分) : 小売業に関する情報を新聞等で調べ要点メモを作成 事後学修 (90分) : 当該授業の配布資料を読み要点を整理			小玉		
8	商品の分類、仮説検証経営	事前学修 (90分) : 小売業に関する情報を新聞等で調べ要点メモを作成 事後学修 (90分) : 当該授業の配布資料を読み要点を整理			小玉		
9	重要なライフラインとしての小売業	事前学修 (90分) : 小売業に関する情報を新聞等で調べ要点メモを作成 事後学修 (90分) : 当該授業の配布資料を読み要点を整理			小玉		
10	利益貢献度分析	事前学修 (90分) : 小売業に関する情報を新聞等で調べ要点メモを作成 事後学修 (90分) : 当該授業の配布資料を読み要点を整理			小玉		
11	従来の流通とサプライチェーン・マネジメント	事前学修 (90分) : 小売業に関する情報を新聞等で調べ要点メモを作成 事後学修 (90分) : 当該授業の配布資料を読み要点を整理			小玉		
12	POSシステム、PB (プライベート・ブランド) とNB (ナショナル・ブランド)	事前学修 (90分) : 小売業に関する情報を新聞等で調べ要点メモを作成 事後学修 (90分) : 当該授業の配布資料を読み要点を整理			小玉		
13	重要ポイントのおさらい、課題レポートについて	事前学修 (90分) : 小売業に関する情報を新聞等で調べ要点メモを作成			小玉		

		事後学修(90分)：当該授業の配布資料を読み要点を整理	
14	最新の流通のトピックス	事前学修(90分)：小売業に関する情報を新聞等で調べ要点メモを作成 事後学修(90分)：当該授業の配布資料を読み要点を整理	小玉
15	まとめ・理解度確認テスト	事前学修(90分)：小売業に関する情報を新聞等で調べ要点メモを作成 事後学修(90分)：当該授業の配布資料を読み要点を整理	小玉
成績評価の方法と基準	期末レポート(50%)に加えて、毎回、理解度を確認するために課すコメント票の内容、小テストと授業への参加度(50%)などから総合的に評価します。		
履修上の留意点	毎回時事問題や流通についてのトピックスを取り上げ、皆さんにも考えてもらいます。日頃から日本経済新聞、日経MJ(流通)新聞をよく読み、社会の変化や小売業の動向把握に努め、つねに、その背景にある問題や企業戦略について考える意識を持つことが大切です。必ず要点整理のメモを作成してみましょう。		
ディプロマポリシーとの関連	本科目は、サービス経営学部ディプロマポリシーの(1)(2)(3)と関連しています。特に(1)知識・理解では体系的な学修や多様な学修を通して、サービス経営学を構成する諸科学の学問内容及び方法を理解するという点で重要です。		
教科書	特定の教科書は使用しません。毎回資料を配布します。		
参考書・参考資料	日経MJ(流通)新聞		
学生との連絡方法	授業の前後に相談に応じます。あるいは1号館2Fの研究室を訪ねてください。急ぎの場合はメールをください。		
実務経験科目	実務経験科目に該当する。株式会社西武百貨店に勤務。婦人服のマーチャンダイジングや商品企画を担当。実務経験をもとにマーチャンダイジングや商品企画について理論と実践の融合を図っている。		

授業形態	開講学部	サービス経営学部		選択	2単位	講義	
	2年次	開講期	後期	ディスカッション	無	学外授業	無
授業科目（英名）	金融論（Financial Economics）						
担当教員名	松澤 祐介 (◎は科目責任者)						
<p>〔授業の概要〕 「金融」といえばまず、銀行やコンビニのATMに馴染みがあることでしょう。一方、近年は「仮想通貨（暗号資産）」や「キャッシュレス」といった新たな金融の話題も関心を高めています。この講義では、まず「お金」や銀行の基本的な機能の理解からはじめ、お金の動きは経済にどのような影響を与え、どのようにして支えているのか、経営に必要なお金はどのように調達するのか、を考えます。</p> <p>〔科目の位置付け（全学年を通しての関連科目）〕 この科目は、本学部のカリキュラム・ポリシー（3）、すなわち、グローバル経済コースの実践的で柔軟な専門性を修得する科目として位置づけられます。金融を経済学的に分析することを通じて、お金とは何か、そして「お金」はどのように使われ、殖え、私たちの生活を豊かにするかを理解することで、サービス経営学部において、サービス業としての金融業を理解する一助とします。</p> <p>〔到達目標〕 (1) サービスの一分野である金融に関する基礎的な知識を獲得し、説明できる。 (2) 金融の知識を通じて、企業の資金調達や、金利の影響など、企業経営や消費行動に関連する分野への連関を表現できる。</p>							
回	授業計画	授業外学修 (事前学修・事後学修)			担当者		
1	金融論で学ぶこと：金融の基本的な仕組み、金融に関する用語を確認します	事前学修（90分）：教科書第1章から講義の概要をつかむ 事後学修（90分）：第1回内容に関するAAA配布課題に取り組む（90分）					
2	金融機関の種類とその業務：金融を担う金融機関の種類、金融機関それぞれの固有業務、付随業務を確認します。	事前学修（90分）：教科書第7章、第8章該当箇所を読む 事後学修（90分）：第2回内容に関するAAA配布課題に取り組む（90分）					
3	貨幣の役割と機能：貨幣とは何か、貨幣にはどのような機能があるか、を学びます。	事前学修（90分）：教科書第2章の該当箇所を読む 事後学修（90分）：第3回内容に関するAAA配布課題に取り組む					
4	日本の金融史：日本でどのように金融機関や金融市場が発展してきたのか、その展開を明治以降から現代まで学びます。	事前学修（90分）：教科書第9章該当箇所を読む 事後学修（90分）：第4回内容に関するAAA配布課題に取り組む					
5	銀行の役割：金融仲介を担う、間接金融としての銀行業を学びます。	事前学修（90分）：教科書第7章の該当箇所を読む 事後学修（90分）：第5回内容に関するAAA配布課題に取り組む					
6	金融市場と金利：お金の貸し借りが行われる際の金利、資金が融通される金融市場の機能を学びます。	事前学修（90分）：教科書の第3章該当箇所を読む 事後学修（90分）：第6回内容に関するAAA配布課題に取り組む					
7	企業金融と証券市場：企業の資金調達、直接金融としての株式、債券とその市場について学びます。	事前学修（90分）：教科書の第13章該当箇所を読む 事後学修（90分）：第7回内容に関するAAA配布課題に取り組む					
8	保険業：生命保険、損害保険の機能、役割を学びます。	事前学修（90分）：教科書の第12章該当箇所を読む 事後学修（90分）：第8回内容に関するAAA配布課題に取り組む					
9	金融と情報：「不完全情報」がもたらす問題を金融の観点から学びます。	事前学修（90分）：教科書の該当箇所を読む 事後学修（90分）：第9回内容に関するAAA配布課題に取り組む					
10	信用秩序と金融機関監督：お金の流れを担う金融機関への規制、監督について学びます。	事前学修（90分）：教科書の第11章該当箇所を読む 事後学修（90分）：第10回内容に関するAAA配布課題に取り組む					
11	中央銀行の機能と役割：貨幣を発行する中央銀行の業務と役割りについて学びます。	事前学修（90分）：教科書の第5章該当箇所を読む 事後学修（90分）：第11回内容に関するAAA配布課題に取り組む					
12	金融政策の理論：中央銀行による金融政策を理論的に考察します。	事前学修（90分）：教科書の第4章該当箇所を読む 事後学修（90分）：第12回内容に関するAAA配布課題に取り組む					
13	日本の近年の金融政策の展開：1990年代以降の日本の特異な状況に対する金融政策の展開を学びます。	事前学修（90分）：教科書の第6章該当箇所を読む 事後学修（90分）：第13回内容に関するAAA配布課題に取り組む					
14	資金循環：日本の資金循環の現状と課題を検討します。	事前学修（90分）：教科書の第11章該当箇所を読む 事後学修（90分）：第14回内容に関するAAA配布課題に取り組む					
15	あらたな金融の展開：Covid-19パンデミック下での金融事業、暗号通貨（仮想通貨）などのいわゆるFinTechについての現状と展望、を学びます。	事前学修（90分）：教科書の第2章、第15章該当箇所を読む 事後学修（90分）：AAAで配布される全体のまとめとなる演習問題に取り組む					
成績評価の方法と基準 授業で課される講義内容に関する課題（50%）、試験（50%）で評価します。							

履修上の留意点	
ディプロマポリシーとの関連	本科目は、サービス経営学部ディプロマポリシーの(1)(3)と関連しています。特に、金融の基礎知識から、(3)が実践に積極的に活用されることが期待されます。
教科書	家森信善 『ベーシック+金融論(第2版)』 中央経済社 2018年
参考書・参考資料	
学生との連絡方法	AAAを活用します。
実務経験科目	実務経験科目に該当する。日本銀行に勤務。金融政策運営、金融市場、外為市場、企業動向の調査等に従事。実務経験をもとに、銀行業、金融政策運営、金融市場について理論と実践の融合を図っている。